

令和5年度第1回東大和市学校給食センター運営委員会 会議要録

日時 令和5年9月27日（水）14時30分から16時00分まで
場所 東大和市学校給食センター会議室
出席者 【委員】19名
【東大和市教育委員会】
岡田博史教育長、小俣学教育部長、斎藤謙二郎教育総務課長、
青木康浩給食係長、久保田恭祥主任、小林真主任、
半澤玲奈栄養士、大島淑子栄養士、森田紗也香栄養士

次第

- 1 教育長挨拶
- 2 委員等紹介
- 3 議題
 - (1) 会長の選任について
 - (2) 令和4年度東大和市学校給食会計収入支出決算の報告について
 - (3) 令和4年度東大和市学校給食会計監査結果の報告について
 - (4) 学校給食食材料費の高騰への対応について
 - (5) 学校給食について（諮問）
- 4 その他
学校給食センターの紹介

会議録

午後2時30分 開会	
斎藤教育総務課長	皆さま、こんにちは。本日はお忙しい中、東大和市学校給食センター運営委員会にご出席いただきましてありがとうございます。定刻になりましたので、始めさせていただきます。 会議に先立ちまして、事務局より、本日の資料の確認をさせていただきます。
手元資料の確認	
斎藤教育総務課長	本日の会議につきましては、東大和市学校給食センター運営委員会規則第5条第2項の規定に基づき、委員の半数以上の出席が必要となります。 本日、委員の半数以上にあたる19名のご出席をいただいておりますので、ただいまから、令和5年度第1回東大和市学校給食センター運営委員会を始めさせていただきます。 なお、本日の議題についてですが、1件追加がございます。お手元の進行次第をご覧ください。 3 議題のうち(5)といたしまして「学校給食について（諮問）」を追加させていただきますと存じますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

	<p>議題に入る前に、本日の委員会につきましては、只今、傍聴の許可願いは提出されておりませんが、会議中に傍聴許可願いが提出された際、審議に支障の無いよう、あらかじめ取り扱いを確認させていただきます。</p> <p>傍聴につきましては「東大和市学校給食センター運営委員会会議の傍聴に関する取扱要領」に手続きが定められております。</p> <p>傍聴許可願いが提出された場合に、許可することにご異議ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">【「異議なし」と呼ぶ声あり】</p> <p>ご異議がないものと認め、会議中に傍聴許可願いが提出された際、速やかに傍聴を許可いたします。</p> <p>それでは次第の1、東大和市教育委員会の岡田教育長よりご挨拶を申し上げます。</p>
--	---

1 教育長挨拶

<p>岡田教育長</p>	<p>皆様、こんにちは。教育長の岡田でございます。</p> <p>本日はご多用の中、東大和市学校給食センター運営委員会にご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>また、日頃から、学校給食をはじめ、教育行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。</p> <p>学校給食センターにおきましては、調理配膳業務委託事業者と協力し、徹底した衛生管理のもと、安心安全な給食を安定して提供することに全力で努めております。</p> <p>安全・衛生面に関しましては、定期的に職員の細菌検査を行い、集団食中毒の防止に努めております。また、学校薬剤師の方による定期衛生検査を年3回実施し、施設の使用や食材の管理等が適切に行われているかを確認していただいております。</p> <p>食育の面につきましては、学校給食センターの施設を活用した社会科見学等のほか、栄養士が各学校を訪問しゲストティーチャーとして食育の授業を実施するとともに、教育委員会だよりや市の公式動画チャンネルを活用し、積極的な広報を行いました。また、地場野菜の生産者にご協力いただき、地場産の食材を用いた食育を実施しております。</p> <p>今後とも、学校給食を生きた教材として活用し、様々な形で食育の推進に努めてまいります。</p> <p>さて、本日の議題は、会長の選任、令和4年度の学校給食会計決算についてのご報告であります。9月22日に開催されました令和5年第9回教育委員会定例会におきまして、学校給食に関しまして教育委員会から本運営委員会にお諮りしたい事項につきまして承認をいただきましたことから、一部内容を変更し、学校給食に関しまして諮問をさせていただきたく存じます。詳細につきましては、後ほど事務局よりご説明いたしますので、よろしくご審議のほどお願いいたします。</p> <p>委員の皆様におかれましては、今後とも学校給食事業にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。</p>
--------------	---

齋藤教育総務課長	<p>それでは、次第の3、委員等の紹介に入らせていただきます。</p> <p>各委員の紹介につきましては、自己紹介形式でお願いいたします。マイクは使いませんので、その場でご起立のうえ簡単に自己紹介をお願いいたします。</p>
委員が順次自己紹介	
齋藤教育総務課長	<p>続いて、事務局職員の紹介を教育部長からお願いいたします。</p>
教育部長から各職員を紹介	
3 議題（1）会長選出について	
齋藤教育総務課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、次第の3、議題に移ります。</p> <p>はじめに、（1）会長の選任を行います。</p> <p>東大和市学校給食センター運営委員会規則第5条第1項の規定に基づきまして、会長の選任は委員の互選によることとされております。いかが取り計らったらよろしいか、お諮りいたします。</p> <p>特にご意見等無いようであれば、司会者に一任して頂いてよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">【「異議なし」と呼ぶ声あり】</p> <p>ご異議無いようなので、通例に従いまして、学校順で、第五中学校PTA会長に会長をお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">【「異議なし」と呼ぶ声あり】</p> <p>ただいま、第五中学校PTA会長が運営委員会の会長として選任されましたので、会長席にお移りいただきまして、会長に以降の議事進行をお願いいたします。</p>
会長	<p>円滑な議事運営に努めてまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>次の議事に移る前に、東大和市学校給食センター運営委員会規則第5条第3項の規定に基づきまして、会長の職務代理者を指名します。職務代理者には、第一小学校PTA会長を指名いたしますので、よろしくお願いいたします。</p>
3 議題（2）令和4年度東大和市学校給食会計収入支出決算の報告について	
会長	<p>続きまして、（2）令和4年度東大和市学校給食会計収入支出決算の報告について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
齋藤教育総務課長	<p>令和4年度東大和市学校給食会計決算書をご覧ください。</p> <p>当市の学校給食のために使用する費用の管理は、市の公会計ではなく、私(わたくし)会計の「学校給食会計」で管理しており、児童・生徒の保護者の方々などから集金した学校給食費は、全て給食用食材の購入費に充てております。</p> <p>その内容につきまして、ご説明させていただきます。</p> <p>表紙をおめくりいただきまして、1ページをご覧ください。</p> <p>「収入・支出決算書」になります。上の表、「収入」をご覧ください。</p>

科目、1の給食費ですが、右から3列目の「調定額」は3億1,516万5,940円で、前年度に比べ16万7,010円の減となっております。

こちらは、学校行事などで給食を食べない日が増えたことで、年間の食数が減少したことが主な理由でございます。

その右の列、給食費の「収入済額」は3億702万3,150円で、調定額に対する収入済額の割合は97.4%でございました。前年度、令和3年度は98.0%でしたので、0.6%の減となっております。こちらは、より適切な事務執行の観点から、令和3年度より不納欠損処理をせずに、収入未済額としたため、平成31年度未納額が増えたためでございます。

その右の列の「収入未済額」は、令和4年度・令和3年度と令和2年度以前2年間分（計4年間分）の給食費が支払われず、未納となっている分で、814万2,790円でございます。前年度に比べ194万9,640円の増となっております。

こちらは、より適切な事務執行の観点から、令和3年度より不納欠損処理をせずに、収入未済額としたためでございます。今まで給食費の未納のある家庭に対しましては、通知の送付や、督促の電話や訪問などにより、支払の督促を行っておりますが、今後より長い期間、引き続き行っていきたいと考えております。

次に、その下の段の、2、繰越金、二つ目の「補正額」の欄をご覧ください。312万325円となっておりますが、前年度、令和3年度からの繰越金が312万1,325円 でございましたので、その左の列の当初予算額1,000円を差し引いた額を補正したものでございます。

次に、2つ下の段、4、市助成金、右から2列目の「収入済額」をご覧ください。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症等の影響により、学校給食の食材料費が高騰しているのを受けて保護者の皆様の負担増とならないことを目的として、国の交付金を活用して市から「学校給食食材料費高騰対応助成金」2,251万5,000円が交付され繰り入れたものでございます。

次に、その下の段、太枠の「合計」の右から2列目の「収入済額」をご覧ください。3億3,269万8,790円で、前年度と比較して1,799万6,399円の増となっております。こちらは、「学校給食食材料費高騰対応助成金」2,251万5,000円を交付されたことが、大きな理由でございます。

続きまして、その下の表の、「支出」でございます。

左から3列目の「繰入額」をご覧ください。

こちらは先ほどご説明しました、前年度からの繰越金312万1,325円から予算額の1,000円を差し引いた額312万325円と、「学校給食食材料費高騰対応助成金」2,251万5,000円を繰り入れたものでございます。

下の段の「合計」の右から3列目「支出済額」をご覧ください。

こちらは3億2,090万5,265円で、前年度と比較して932万4,199円の増となっております。

こちらにつきましても、学校給食の食材料費が高騰したことが影響してございます。2つの表の下をご覧ください。

「収入済額合計」が3億3,269万8,790円、その下の「支出済額合計」が3億2,090万5,265円で、「収入支出差引残高」は1,179万3,525円でした。

こちらの金額が令和5年度に繰り越すものでございます。

続きまして、2ページをお開きください。

こちらは、収入の明細になります。

3の諸収入をご覧ください。

諸収入、1、試食会分は3万9,196円で、金額といたしましては、前年度と比較して3万6,226円の増となっております。

これは、各小・中学校のPTAを対象とした試食会が再開されたことなどによるものでございます。

続きまして、3ページをご覧ください。

こちらは収入の明細表で、現年度分すなわち令和4年度分の給食費収入の学校ごとの内訳などを記載しております。

続きまして、4ページをお開きください。

こちらは過年度分、令和3年度分の給食費のうち、令和4年度に収入した分の内訳などを記載しております。

続きまして、5ページをご覧ください。

こちらは、令和2年度分の給食費のうち、令和4年度に収入した分の内訳などを記載したものととなっております。

続きまして、6ページをご覧ください。

こちらは平成31年度以前分で、今回は平成31年度分のみの給食費となりますが、令和4年度に収入した分の内訳などを記載しております。

続きまして、7ページをご覧ください。

こちらは支出の部明細で、令和4年度の学校給食で使用した食材ごとの使用金額と、全体を100%とした構成比率を記載しております。

このうち、3「小麦粉」の構成比率が、3.0%で、前年度と比較して1.6ポイントの増、10「魚介類」が10.7%で1.5ポイントの増、11「小魚類」が1.6%で1.2ポイントの増となっております。

理由としましては、この比率は金額ベースで比較しているため、食材の高騰が激しかった物が増加となった理由でございます。

続きまして、8ページをご覧ください。

こちらは月別給食延人数になります。

一番下の段の右から2番目が全体の年間の合計で、118万3,807食でした。前年度と比較して3万1,168食の減となっております。こちらも、学校行事などで給食を食べない日が増えたことで、年間の食数が減少したことが主な理由でございます。

続きまして、9ページをお開きください。

こちらは月別の1人1食あたりの平均栄養摂取量を、小学生の中学年と中学生の別に記載しております。

	<p>一番下の段の「国基準」とは、国が定めている学校給食実施基準のことですが、給食は、毎月の平均栄養摂取量がこの基準を満たせるよう、献立を工夫し作成しております。</p> <p>令和4年度学校給食会計決算の説明は、以上でございます。</p>
3 議題（3）令和4年度東大和市学校給食会計監査結果の報告について	
会長	<p>続きまして、（3）令和4年度東大和市学校給食会計監査結果の報告につきまして、監査委員からお願いいたします。</p>
監査委員	<p>令和4年度東大和市学校給食会計収入支出経理について監査をした結果、適正に執行され、かつ帳簿、証書類ともに誤りのなかったことを認めます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>令和4年度東大和市学校給食会計収入支出決算及び監査結果の報告が終わりました。</p> <p>ご質問がございましたら、挙手をお願いいたします。</p> <p>ご質問がなければ、質疑を終わります。</p> <p>以上で、（2）令和4年度東大和市学校給食会計収入支出決算の報告、（3）令和4年度東大和市学校給食会計監査結果の報告を終了いたします。</p>
3 議題（4）学校給食食材料費の高騰への対応について	
会長	<p>次に、（4）学校給食食材料費の高騰への対応につきまして、事務局から説明をお願いいたします。</p>
斎藤教育総務課長	<p>それでは、お手元の資料「学校給食食材料費の高騰への対応について」をご覧ください。</p> <p>学校給食の食材料費は、先ほどもご説明しましたように、保護者の皆様からいただく学校給食費によって賄っており、その中で、国が定める学校給食実施基準に定められた各種栄養素の摂取基準に基づき学校給食を提供しているところでございます。</p> <p>しかし、ご承知のように新型コロナウイルス感染症等の影響により、昨今は物価の上昇に伴い食材料費が高騰していることから、皆様からいただいております学校給食費だけでは学校給食の栄養価を含めた質を維持することが厳しい状況となっております。</p> <p>こうした状況を受けまして、令和4年度と令和5年度に、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用して、市から「学校給食食材料費高騰対応助成金」を交付いたしまして、保護者の皆様の負担を増やさずに学校給食の質の維持を図る取り組みを実施してまいりました。</p> <p>その内容ですが、令和4年度には、先ほどの決算のご報告にもございましたとおり、2,251万5,000円を、令和5年度には4,878万8,000円を市から学校給食会計に助成してございます。</p> <p>経緯としましては、令和4年度分は、令和4年6月に開催された令和4年第2回市議会定例会において補正予算を計上いたしまして、議員の皆様のご理解をいただき可決されたことを受けまして交付したものでございます。</p>

	<p>令和5年度分につきましては、2回に分けて実施しております。令和5年2月から3月にかけて開催された令和5年第1回市議会定例会において助成金として3,315万7,000円を計上する補正予算の可決を受けまして、同金額を令和4年度から令和5年度に繰越して交付いたしました。当時の計算といたしましては、この金額で足りるものと見込んで補正予算を計上しましたが、その後も物価の上昇が続きましたので、このままでは必要な栄養価などお子様への影響が大きくなると見込まれましたので、令和5年6月に開催された令和5年第2回市議会定例会におきまして、さらに助成金として1,563万1,000円を計上する補正予算の可決をいただき、こちらも学校給食会計に交付しました。このため、令和5年度は3,315万7,000円と1,563万1,000円の合計4,878万8,000円を助成してございます。</p> <p>説明は以上です。</p>
会長	説明が終わりました。ご質問がございましたら、挙手をお願いいたします。
委員	給食費の助成で、補助してくれるのはいいと思うんですが、なぜ値上げしないのですか。保護者からいただく給食費の値上げをしてもいいんじゃないかと私は思っています。
斎藤教育総務課長	<p>ご意見ありがとうございます。給食費につきましては、食材を買う分だけに充て、光熱水費や人件費は公会計で出しています。</p> <p>お子様の口に入る食材料の費用について学校給食費で賄っておりますが、今お話しさせていただいたように物価上昇がありますので、この後の議題で学校給食に関する教育委員会からの諮問がございます。</p> <p>給食の内容、子供達に必要な給食の内容とそれ以外のことをするためにはいくらか必要なのかというところで、ぜひ頂いたご意見を大事にして、検討をさせていただきたいと考えている次第でございます。</p>
小俣教育部長	<p>給食の関係では、栄養士も様々な工夫をして、何とか物価が高騰したなかでも、子どもたちが喜んで食べてくれる給食を作ってきております。そうした中で、国の交付金が活用できるということで、学校給食費の金額を変えずにこれまでやってまいりました。</p> <p>ただ、令和6年度についてはその見込みが今のところまだなく、来年度はどうなるんだろうという心配もありまして、来年度の給食の内容をどのようにしていきましようか、というところを皆様にお諮りさせていただきたいと考えております。</p> <p>あくまでも国の交付金があつて、値上げをせずになんとかやってこれたというところでございます。以上です。</p>
会長	<p>ご質問がなければ、質疑を終わります。</p> <p>以上で、(4)学校給食食材料費の高騰への対応についてを終了いたします。</p>
3 議題 (5) 学校給食について(諮問)	
会長	<p>次に、(5)学校給食に関する教育委員会からの諮問に移ります。</p> <p>教育委員会からの諮問の伝達を行っていただきます。</p> <p>事務局の斎藤教育総務課長に進行をお願いいたします。</p>

齋藤教育総務課長	<p>それでは、学校給食に関しまして、東大和市教育委員会から東大和市学校給食センター運営委員会に諮問させていただくこととなりました。ただ今より諮問の伝達を行いたいと思いますので、委員の皆様はお手元にご用意しました諮問書の写しをご覧ください。</p> <p>それでは、教育長、会長、よろしくお願いいたします。</p>
岡田教育長	<p>学校給食について（諮問）。</p> <p>東大和市学校給食センター運営委員会規則第2条第1項の規定に基づき、下記のことについて、貴委員会の意見を求めます。</p> <p>1、諮問内容。学校給食の質の維持・向上に必要な給食の内容について検討し、そのために必要な学校給食費の見直しについて意見を求めます。</p> <p>2、理由。学校給食の食材料費は、保護者の皆様からいただく学校給食費で賄っており、その中で文部科学省が定める学校給食実施基準に定められた学校給食における各種栄養素の摂取基準に基づき学校給食を提供してまいりました。</p> <p>しかし、昨今の物価上昇に伴い食材料費が高騰したことを受けまして、令和4年度及び5年度は、国からの交付金を活用し、市から学校給食会計に助成金を交付することで、保護者の皆様の負担を増やさずに学校給食の質の維持に取り組んできました。</p> <p>こうした事情により、保護者の皆様からいただく学校給食費で給食の提供を行うことが非常に困難な状況にあることから、学校給食において必要な栄養素の摂取量を確保し、質の維持・向上を図るため、学校給食の適切な内容についての検討とそれを提供するための学校給食費の見直しが必要であると考え、諮問します。</p> <p>3、見直し後の取扱い。見直しの結果、学校給食費の改定を行う場合は、令和6年4月1日に改定することを想定しております。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">【教育長から会長へ諮問書を手交】</p>
齋藤教育総務課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、会長に引き続き進行をお願いいたします。</p>
会長	<p>ただいま伝達が終了いたしましたので、「学校給食について（諮問）」を議題に供します。</p> <p>本件につきまして事務局から説明をお願いいたします。</p>
齋藤教育総務課長	<p>諮問書の内容については伝達式にて教育長の方で読み上げさせていただきましたので、割愛させていただきたいと思います。</p> <p>諮問書に記載された表の考え方についてご説明させていただきたいと思います。</p> <p>「学校給食について（諮問）資料」をご覧ください。</p> <p>学校給食の食材料費等の現状についてご説明いたします。</p> <p>はじめに、現在の学校給食の食材料費の算出についてです。</p> <p>①としまして、令和3年度に学校給食会計から支出した食材料費につきまして、生鮮食料品、パン、牛乳、米類、その他に分類して、それぞれの支出額を算定します。</p>

次に、②としまして、令和3年度と令和5年度の、生鮮食料品などそれぞれの食料供給契約の金額を比較しまして、令和3年度から令和5年度にかけての金額の増加率を算出します。なお書き以下は、それぞれの増加率となっております。

次に、③としまして、令和3年度の生鮮食料品などのそれぞれの支出額にそれぞれの増加率を乗じまして、令和5年度の食材料費を算出します。

これらを合計しまして、食材料費の高騰分として④にありますように、助成金を学校給食会計に交付しております。

児童・生徒一人当たりの助成金につきましては、⑤にごございますように、基準となります小学校中学年の一人当たりの助成金額を算定します。小学校低学年、高学年と、中学生の一人当たりの助成金額につきましては、それぞれの学校給食費と小学校中学年の学校給食費との割合に応じて算出しております。その金額につきましては、資料の下のほうに記載されております「助成金」の額のとおりとなっております。現在の一人当たりの学校給食の食材料費は、学校給食費と助成金を合計した金額となります。

なお、この助成金の対象は児童・生徒のみとなっておりますことから、学校の教職員と学校給食センターに勤務する職員、例えば調理員や配送を行う職員のほか、試食会にいらっしゃった保護者の方につきましては、⑥にありますように、助成金の対象となっておりますので、食材料費の高騰分相当額は、自己負担として徴収させていただいているところでございます。

続きまして、裏面の2、当市の給食費改定状況をご覧ください。ここでは、過去の改定の経過についてご説明いたします。

改定状況が記録として残っている平成6年度からの状況をご説明しますと、平成6年度には野菜類高騰及びパン類加工賃等の値上げにより改定をしているところですが、以降は消費税率の改定や、学習指導要領改定に伴う給食日数の増加に伴う学校給食費の改定となっております。学習指導要領が改定されると、学校の日数が変わり、それにより給食の提供日数も変わりますので、それにより給食費を改定したものであり、物価の変動を考慮した改定は、平成6年度以降はございません。このようにして、平成26年度の改定を最後に、現在の学校給食費の金額で運営してきているところです。

次に、当市の現状についてですが、A4横の「令和5年度学校給食費 各市一食単価一覧」をご覧ください。

一食当たりの単価を多摩26市で比較した場合、小学校低学年だと当市は26市中26番目と最も低く、中学年と高学年では26市中25番目、中学生は26市中24番目と、最も低い部類となっております。この表に記載された金額は給食費として定められたものであり、今年の助成金はこの表の中に入れておりません。ですから、実際にはもっと高い金額によって学校給食を提供していることとなりまして、他市も同じように助成をしているところもありますので、順位が変わってくる部分もございます。あくまでも給食費として定められた金額を記載しておりますが、助成金を含めましても、当市はおそらく一番低い部類に入るかもしれませんが、そのような中で栄

	<p>養士が一生懸命献立を考えて、子どもたちが少しでも食べやすく、栄養が確保できるようにいろいろと考えて提供しているところです。</p> <p>次に、今後の検討の進め方につきましてご説明いたします。</p> <p>学校給食の内容及び学校給食費に関することとなりますことから、慎重にご検討いただく必要があると考えております。東大和市学校給食センター運営委員会規則第6条第1項に規定する専門部会の設置をしたいと事務局では考えております。部会員につきましては、各小中学校の校長先生3名と、PTA会長又は保護者会会長3名の合計6名としまして、部会員につきましては、同規則第6条第2項の規定により、会長よりご指名いただきたいと思いますと考えております。</p> <p>想定している専門部会のスケジュールですが、10月に2回程度、11月に1回の専門部会を開いて詳細をご検討いただきまして、その結果に基づきまして11月又は12月に再度、全体の運営委員会を開催したうえで、運営委員会から教育委員会への答申の内容をどのようにするかを決をとらせていただきたいと思いますと考えております。</p> <p>以上でございます。よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>事務局からの説明が終わりました。何かご意見ご質問がございましたら、挙手をお願いいたします。</p>
委員	<p>給食費について様々な物が高騰する中で仕方がないと思うんですけど、実際に保護者が負担する時にしっかり説明をする必要があるなと思います。</p> <p>各市の一食の単価一覧があったと思いますが、東大和が一番下になっています。小学校低学年でいえば、保護者からは210円をいただいているのに対して、実際の給食は250円分になっていると思います。これは助成金を加味したものとなっていると思いますが、他市でもこういう助成金は全部使ってるのか、もしくは使ってない所もあるのでしょうか。</p> <p>現実問題として、来年は多分、助成金は無いと思っていいのでしょうか。そう考えれば、今と同じ水準のものを食べようと思ったら、低学年であれば40円はもう加算されてしまうわけですが、他市も同じなのかをお聞きしたいなと思いました。</p> <p>現在助成金を使ったうえで250円まで来ているので、来年も同様という認識でいいのか、今現在も本当に給食がおいしくなってきたと私は思っているんですけど、野菜とかいろいろなものが高騰しているので、もう少し値段を上げなければいけないのか。そこを聞きたいと思いました。</p>
斎藤教育総務課長	<p>基本的に助成金につきましては、ほぼどの自治体もやっていると認識してございます。詳細までは把握できておりませんが、聞き及んでいる限りでは、金額の多寡がございました。</p> <p>給食の今後についてなんですけど、今現在、国の動きなどについて情報収集をしていますが、来年度につきましては今年のような交付金は今のところ話に全く出てきておりませんので、来年度以降はその助成金が、無いものというふうには考えてございます。</p> <p>他の自治体でも価格を改定しないとやっていけないということは、多摩地区の他市の課長さんと話をしている中で聞いていまして、価格の改定を今回のような会議に諮</p>

	<p>って、皆さんからご意見を伺って検討させていただくというところはいくつかあると聞いてございます。</p> <p>当市も仮に、一番下の順位から真ん中や上位の方へ行っても、他市も上がってくると、また一番下の方になるという可能性もないことはございません。</p> <p>また、今年度助成した金額ぐらゐがあれば、食材により値上がりするものが異なったり値上がり率が異なったりしますが、来年度は大丈夫ではないかなというふうに、今は見込んでいるところでございます。</p> <p>今年度交付した助成金の基となる地方創生臨時交付金につきましては、来年度どのようなことになるかという話は今は全くありませんが、その地方創生臨時交付金は保護者の方の負担軽減を目的としていますので、今回は食材料費の高騰分に充てさせていただきました。これは保護者の負担軽減が目的であって、教職員の皆様や給食センターの職員は対象になりませんので、先生方には大変申し訳なかったんですけども、その分は簡単に言いますと自腹でご負担いただいたという状況でございます。</p> <p>もうひとつ、給食事業をやっている広島の実業家が、食材料費の確保ができず赤字になって、2〜3週間前に突然給食をやめて破産しました。いろいろな学校などを請け負ってたので、学校の職員、先生、保護者の方も大変だったと思います。食材料費の確保という面では、東大和市の給食につきましても、現状の給食費では同じような状況でございます。</p> <p>栄養士に助成金がなかった場合の4月の献立を仮に作ってもらったら、栄養価は無い、量も確保できないという状態で、給食といえない状況になりそうだ、ということでした。</p> <p>以上でございます。</p>
委員	収入済額合計に3億3,269万とありますけれども、これは補助金を入れた額ですか。
青木給食係長	助成金込みとなっております。
委員	<p>例えば現状と同じレベルの給食内容で提供するとなると、実際には3,700万ぐらいが不足してたんですよ。その3,700万を埋めるとすれば一食当たり40円の値上げで済むんですか。</p> <p>食材がまだまだ上がることが想定されるし、円安が想定されるので、同じ内容といっても値上げ幅はもうちょっと上がらないと無理かなっていうことを考えてました。一食40円といいますと、月にすると700〜800円前後となるかと思います。</p> <p>それぞれの市が、今のその質を落とさないで給食を提供していくとするならば、もちろん上がらないに越したことはないけれど、補助金がなければ現状維持ももう無理ですよっていうことを理解していただくしかないかな、と思います。</p> <p>この補助金が出ることで、負担が少しでも圧縮されると理解していますが、全く出ないとも限らないんでしょうか。</p>
斎藤教育総務課長	<p>臨時交付金については昨年末くらいに次年度に使えるという情報が有りまして、令和5年度に交付した1回目の助成金は令和4年度の臨時交付金を活用したもので、議会の議決をいただいて補正予算として計上したものを令和5年度に繰越しています。</p> <p>2回目の分については令和5年度の臨時交付金を活用したものです。</p>

	<p>次年度の分については情報収集をしていますが、今のところは来年度の補助金は見込めないという状況であるため、今回、諮問させていただくこととなったものであります。</p>
委員	<p>専門部会は一食当たり 40 円とかを最低基準として検討になるのでしょうか。</p>
斎藤教育総務課長	<p>見込みとしては、子供達に必要な栄養価の為にはそのぐらいになってしまうかなと言ったところでございます。</p> <p>補足といたしまして、平成 31 年度に学校給食センター運営委員会で給食の質と金額についてご検討をいただきたいというところで、当時の学校給食センター運営委員会では給食費の改定について了承していただきました。しかし、翌年明からコロナの流行により、学校が臨時休校し、給食の提供も止まってしまったため、給食費についての検討も止まってしまい、現在の給食費が維持されていという状況でございます。</p>
会長	<p>ほかにご質問がなければ、質疑を終わります。</p> <p>事務局からは、専門部会の設置について提案がなされておりますが、専門部会について、事務局案のとおり設置することにご異議ございませんか。</p> <p>賛成の委員の方の拍手を求めます。</p> <p style="text-align: center;">【委員より拍手あり】</p> <p>それでは、専門部会を設置することといたします。</p> <p>専門部会の部会員につきましては、東大和市学校給食センター運営委員会規則第 7 条第 2 項に基づき、会長である私から指名させていただきます。お名前を読み上げますので、指名された方は、お手数ですが、その場にご起立ください。</p> <p>第二小学校長、 第十小学校長、 第四中学校長、 第三小学校 P T A 会長、 第七小学校 P T A 会長、 第三中学校 P T A 会長。</p> <p>以上の 6 名の方を専門部会員として指名いたします。皆様、よろしく願いいたします。どうぞ、ご着席ください。</p> <p>専門部会の日程につきましては、おって事務局から通知いたします。</p>
<p>4 その他 学校給食センターの紹介</p>	
会長	<p>続きまして、次第の 5、その他の学校給食センターの紹介に移ります。</p> <p>機材の準備をいたしますので、そのままお待ちください。</p>
<p>《学校給食センター紹介映像視聴》</p>	
会長	<p>ご視聴ありがとうございました。</p> <p>何かご意見ご質問ありましたら挙手をお願いします。</p>

委員	映像ありがとうございました。この映像を見せてもらうのは初めてでしたでしょうか。
半澤栄養士	保護者の試食会などで使用している映像になりまして、運営委員会で流すのは初めてだったかと思います。
委員	子どもたちには見せていない映像ということですか。
半澤栄養士	子どもたちには今のところまだ見せたことはありません。
委員	<p>ありがとうございます。映像を見て私もわかることがいっぱいありました。安心安全の取り組みをされているのがわかるし、先ほどの給食費のこともそうなんですけれども、学校の方で子どもたち、もしくは試食会以外の方にも見せる機会があったらいいかなと思いました。そういう機会があったら、学校給食センターにはこういう施設があって、こういうことをやっているんだということをアピールすることができてとても良いなと感じました。</p> <p>それから、開催日時なんですけど、水曜日はやはり職員会議等の行事を入れている学校が多いので、水曜日ははずしていただいたほうがありがたいなと感じました。以上です。</p>
会長	<p>ご意見ありがとうございます。本当にあの動画はとても素晴らしいものだったなと思いますので、ぜひ小学校の児童達やより多くの人に見てもらえたらなと思います。</p> <p>その他、何かご意見、ご感想などはありませんか。</p> <p>ご質問等がなければ質疑を終わります。</p> <p>これを持ちまして、令和5年度第1回東大和市学校給食センター運営委員会を閉会いたします。委員の皆様のご協力に対しまして、御礼を申し上げます。本日はありがとうございました。</p>
午後4時00分 閉会	